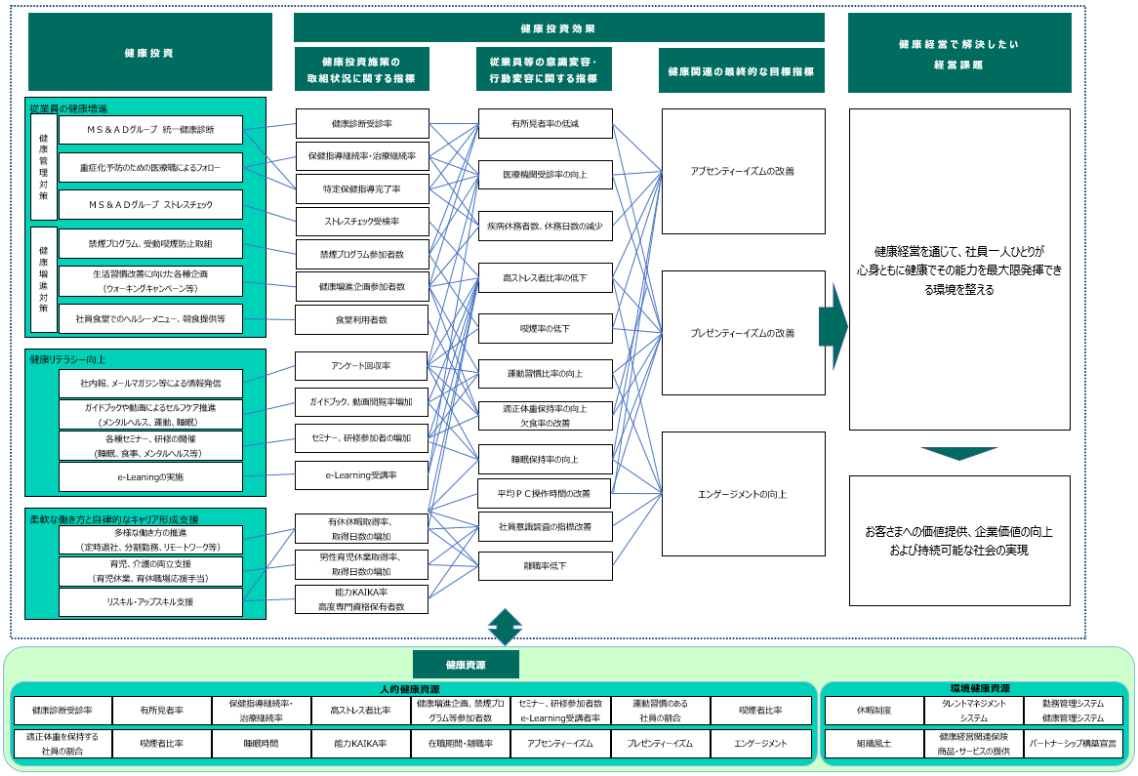
戦略マップと取組内容について

１．健康経営の全体像

当社では、健康経営を通じて、社員一人ひとりが健康で、働きがい、やりがいをもって能力を最大限発揮できる環境を実現することを目指します。この考えのもと、健康経営の最終的な目標指標としてアブセンティーイズム・プレゼンティーイズムの改善、エンゲージメントの向上を掲げています。



各指標の向上に向け、当社では以下の５領域を重点領域として、健康課題の予防・早期対応・職場の環境改善を一体的に推進しています。

重点領域	目的	主な取組	目指す効果
早期発見・早期治療	悪性腫瘍や脳・心臓疾患等を早期に発見し、治療につなげる	精密検査対象者への受診勧奨、結果把握、再勧奨	アブセンティーイズムの改善
重症化予防	健康リスクの高い社員を早期に支援し、重篤な疾患発症を防ぐ	産業医・産業看護職による面接、保健指導、就業上の措置	重大疾病の予防、安定就業の支援
生活習慣改善	全社員が健康行動を習慣化できる風土をつくる	運動、食事、睡眠、禁煙、こころの健康、女性の健康支援	プレゼンティーイズム改善、職場活性化
メンタルヘルス	メンタル不調の予防と早期復帰を支援する	ラインケア・セルフケア教育、相談窓口、復職支援、職場環境改善	休務防止、再発防止、エンゲージメント向上
安全衛生・リスク管理	労働災害を未然に防ぎ、安全で快適な職場環境を整える	安全衛生管理体制、衛生委員会、職場巡視、リスクアセスメント	安心して働ける職場づくり

２．各重点領域に対する施策と効果検証

（１）精密検査受診率向上取組

項目	内容
目的	悪性腫瘍や脳・心臓疾患等を早期発見・早期治療につなげることで、疾病による休務を防止し、アブセンティーイズムの改善を図る。
実施内容	要精密検査対象者に対し、産業看護職が医療機関への受診勧奨を実施。受診結果が確認できない場合は再勧奨を行い、より多くの社員が必要な検査を受けられるよう支援している。また職場の安全衛生管理として、管理職や衛生委員会から受診推進を呼びかけている。
効果検証	受診率、結果把握率の向上を目指し、対象者への個別対応を継続している。 2025 年度の精密検査受診率・結果把握率は 76.2%となっており、引き続き取組を継続していく。

（２）重症化予防取組

項目	内容
目的	有所見者に対する就業上の措置判断を確実に実施し、脳・心臓疾患等の重篤な疾患発症を防止する。
実施内容	健康診断結果等からハイリスク社員を抽出し、産業医・産業看護職による受診勧奨や保健指導を実施。就業により健康状態が悪化するリスクが高いと判断される場合は、産業医意見に基づき必要な就業上の措置を講じている。また、主治医とも連携し、健康状態の改善が確認できるまで継続的に支援している。
効果検証	ハイリスク社員のうち、健診データが著しく悪いなど早期に健康状態の悪化が懸念されるケース（2025 年度 40 名）に対し、産業医・産業看護職が個別面接等を通じて継続的な指導および支援を行い、数値の改善もしくは継続治療がされていることを確認している。

（３）生活習慣改善取組

項目	内容
目的	データ分析から、生活習慣病は年齢を重ねることで発症リスクが高まることから、若い世代を含め、全社員に対して社員が健康でいきいきと働けるよう、健康保持・増進に取り組む風土（習慣）をつくり、生活習慣病の発症を予防する。
実施内容	運動、食事、睡眠、禁煙、こころの健康、ＤＥ＆Ｉの 6 分野を中心に、健康や生活習慣改善に向けたヘルスリテラシー向上やセルフケアのきっかけづくりに取組んでいる。ヘルスリテラシー向上の取組みの一環として、メールマガジンで健康に関するテーマを取り上げたクイズを実施し、2025 年度は延べ 8,575 人が回答している。2019 年度からは運動習慣の定着、2022 年度からは禁煙支援に注力し、2026 年度からは就業時間中禁煙を開始している。また、女性特有の健康課題にも対応するため、2021 年度から女性の健康セミナーや座談会、上司・同僚向けの理解促進セミナー等を実施しており、2025 年度は延べ 1,384 人が参加している。
効果検証	運動習慣比率は取組前と比較して 8.5 ポイント向上し、喫煙率は 2.4 ポイント改善。また、チーム対抗のウォーキング企画等により、個人の健康行動の促進だけではなく職場コミュニケーションの活性化にもつながっている。

（４）メンタル不調等ストレス関連疾患への取組

項目	内容
目的	メンタル不調による休務を防止するとともに、休務者の早期復帰支援を継続的に行い、アブセンティーイズムおよびプレゼンティーイズムの改善を図る。
実施内容	社員教育としてラインケア・セルフケア研修を実施し、相談窓口を設置する他、環境変化によるストレスに着目し、新入社員、異動者、昇進者等に対して、産業看護職や産業カウンセラーによるアプローチを実施。休務者の早期復帰に向けては、定期的に回復レベルを確認し、社内各部門と連携し、職場環境改善取組を行うとともに、精神科専門産業医や産業カウンセラーと連携して復

	帰準備を支援している。
効果検証	2024 年度以降、メンタル不調による平均休務日数は減少傾向にあり、早期復帰が進んでいる。一方で、メンタル不調による休務は一定数発生しており、引き続きメンタル不調による休務防止に取り組んでいく必要がある。

（5）労働安全衛生とリスクアセスメントの取組

項目	内容
目的	安全衛生活動の充実を図り、労働災害を未然に防止することで、社員の安全と健康を確保し、快適な職場環境の形成を促進する。労働安全衛生法遵守に加え、社員の高年齢化を踏まえ、高年齢労働者の特性に配慮した労働災害防止対策を推進し、事務所内での転倒事故等への対策にも注力する。
実施内容	安全衛生管理体制を確立し、労使連携のもと安全衛生計画に基づく PDCA を展開している。特にリスクアセスメントを実施し、職場に潜むリスクを把握・低減に取組んでいる。加えて、高年齢労働者の特性や転倒災害防止の観点を踏まえ、健康フェスタではロコモチェックや立位年齢測定等を実施し、転倒予防や身体機能維持に関する理解促進と健康リテラシーの向上に注力している。
効果検証	リスクアセスメントに基づく、職場巡視点検を実施しており、安全衛生活動の定着が図られている。また、健康フェスタで実施したロコモチェックや立位年齢測定等には幅広い年齢層の社員が参加し、年齢に応じた健康意識の向上や、転倒予防や身体機能維持に対する関心が高まるなど、労働災害防止に向けた意識向上につながっている。

３．健康経営の推進に伴う効果

上記の取組が社員の働きやすさや組織の活力にどのようにつながるのかを確認するため、最終的な目標指標でもあるプレゼンティーイズム、アブセンティーイズム、エンゲージメントを継続的に把握しています。

プレゼンティーイズムと健康関連指標の分析では、メンタルヘルスや睡眠との関連が示唆されており、生活習慣改善取組、メンタルヘルス取組のほか、スマートワーク取組等と併せて分析評価を行っていきます。

	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度 目標値
健康投資コスト	721 百万円	681 百万円	1,059 百万円	－
プレゼンティーイズム （2024 年より SPQ 東大一項目版を導入）	7.8% 測定人数：17,487 人、 回答率：92.6%	13.4% 測定人数：13,937 人、 回答率：100%	14.1% 測定人数：14,857 人、 回答率：100%	12%未満 （数値が低い方がよい）
アブセンティーイズム 傷病休務日数を基に算出	1.2P 測定人数：17,487 人、 回答率：100%	1.0P 測定人数：16,964 人、 回答率：100%	1.3P 測定人数：17,111 人、 回答率：100%	2.0P 未満 （数値が低い方がよい）
ワークエンゲージメント （社員意識調査により把握）	3.4P 測定人数：14,691 人、 回答率：96.3%	3.5P 測定人数：13,937 人、 回答率：96.8%	3.5P 測定人数：14,857 人 回答率：96.4%	前年以上 変更時設問数の違い（数値が高い方が良い） 5 段階

■測定基準について

- プレゼンティーイズムの測定は、2024 年度より SPQ(東大 1 項目版)を導入しました。（2023 年度迄は当社独自指数（ストレスチェック集計結果等）を利用)。
- アブセンティーイズムの測定は、当社独自の方法（傷病による休務者割合で欠勤前の有給休暇中を含む）を基に算出しています。2.0%未満を目標値としています。
- ワークエンゲージメントは、当社独自の方法（社員意識調査）にて測定しています。

〈参考〉具体的な数値目標および結果について

区分	項目	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度 目標値
健康診断	健診受診率	100%	100%	100%	100%
	がん検診（肺）受診率	98.7%	98.9%	98.8%	90%以上
	がん検診（胃）受診率	88.8%	87.1%	85.8%	90%以上
	がん検診（大腸）受診率	96.3%	96.2%	96.0%	90%以上
	がん検診（乳房）受診率	91.6%	91.1%	91.5%	90%以上
	がん検診（子宮）受診率	84.0%	83.7%	83.1%	90%以上
	精密検査受診率※	68.4%	76.2%	76.2%	80%以上
ハイリスク者管理	保健指導継続率	100%	100%	100%	100%
	治療継続率	79.5%	91.3%	97.0%	100%
特定保健指導	特定保健指導完了率	55.3%	56.5%	後日開示	60%以上
生活習慣	運動習慣者率	29.8%	30.9%	32.0%	33%以上
	睡眠保持率	73.1%	63.1%	65.7%	75%以上
	喫煙率	14.5%	14.1%	13.7%	12%未満
	適正体重保持率	66.9%	66.1%	66.1%	68%以上
健康増進施策	健康増進企画参加数	6,904 人	9,485 人	10,846 人	11,000 人以上
主な施策の従業員満足度	健康増進企画満足度	94.0%	87.4%	93.0%	95%以上
ストレスチェック	ストレスチェック受検率	93.3%	94.8%	97.8%	98%以上
	高ストレス者比率※	13.9%	12.6%	11.4%	10%未満
労働災害	業務上災害申請件数	30 件	19 件	25 件	前年度以下
	通勤途上災害申請件数	48 件	51 件	45 件	前年度以下
	死亡災害申請件数	0 件	0 件	0 件	0 件

■測定基準について

・　精密検査受診率の測定は、労働安全衛生法の健診項目に加えて、がん検診等当社が定める健診項目を含めて 1 項目 1 カウントで算出しています。また海外拠点を除きます。

・　ストレスチェックの測定は当社独自の方法を採用しています。モチベータートストレッサーの数値に注目しており、その数値を全国平均値以上とすることを目標としています。

	2023 年度	2024 年度	2025 年度
離職率	3.8%	3.3%	2.3%
有給休暇取得率	89.3%	93.3%	94.5%
1 日あたりの労働作時間※	9：57	9：40	9：29

■測定基準について

・　プロフェッショナル社員の 1 日あたり平均 PC 操作時間です。PC 操作時間には、1 時間の休憩、中抜け時間を含みます。

以上